

項 目	概 要
事業名	山梨県バスツアー（ステップ2：外国人の地域参画）
日 時	①9月21日（日）10時から15時 ②9月27日（土）10時から12時30分 ③11月8日（土）10時から15時30分 11月9日（日）10時から15時
場 所	①コミュニティふらっと本天沼（本天沼2-12-10） ②妙法寺（堀之内3-48-8） ③桃井原っぱ公園（桃井3-8-1）
出席者	①日本人6名 外国人4名 ②日本人3名 外国人2名 ③日本人のべ8名 外国人のべ7名
目 的	区の交流自治体である山梨県忍野村、小学生の移動教室で関係のある山梨県山中湖村と連携し、外国人区民と日本人区民との相互交流事業を実施し、多文化共生意識の醸成を図るとともに、外国人区民の地域参画の促進や地域の活性化及びキーパーソンの育成につなげていくことを目的とする。
実 施 内 容	ステップ1で実施した山梨県バスツアーの参加者に、地域参画の一環として区内各種イベントに参加してもらい、区民同士が顔の見える関係を構築できるよう、地域住民との交流機会を創出するとともに活躍の場を提供した。 【事業実施内容詳細】 ①荻窪地域区民センター協議会主催の「荻窪秋まつり」にて、ウクライナ支援募金を実施し、募金者への御礼としてステップ1で名付けをしたダリアの切り花を配布した。 ②NPO 法人すぎなみ子どもサポート主催の「寺子屋 in 妙法寺」で開催された子ども食堂にて、子供たちとの交流を行い、ステップ1で名付けをしたダリアの切り花をプレゼントした。 ③杉並区最大級のイベント「すぎなみフェスタ」にて、ステップ1で訪問した山中湖村と協働し、物産品の販売を体験した。
実施する 取 組	1－③「国内外の文化を相互理解する取組」 3－⑧「多文化共生を進める人材の育成」 3－⑩「地域コミュニティへの参加促進」

項目	概要
事業名	新規転入者（留学生）に対する啓発事業
日時	令和7年9月3日（水） 10時から11時 14時から15時
場所	杉並区役所 消防用通路及び西棟前広場
出席者	明治大学留学生 午前11名、午後14名 計25名
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規転入者（留学生）に対し、起震車体験やごみの分別を周知することにより、母国との違いを感じてもらい、日本の文化や習慣に慣れてもらう。</li> <li>・地域コミュニティへの参加促進を促す。</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治大学の留学生が、転入手続き等をしている待ち時間を使い、消防用通路で防災課の協力を得て、起震車体験を行った。</li> <li>・西棟前広場で杉並清掃事務所の職員より、ごみの分別について、説明を行った。特にリチウムイオン電池については、実物を見せながら、発火の危険性について説明を行った。</li> </ul>
実施する取組	3-⑦「安全・安心な生活の確保」 3-⑩「地域コミュニティへの参加促進」

項 目	概 要
事 業 名	外国人生活講習会
日 時	令和7年11月16日(日) 10時から12時
場 所	高井戸中学校震災救援所
出 席 者	参加者(スタッフ含め)90名 外国人2名
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に震災が起こった場合、震災救援所に行くことを知ってもらう。</li> <li>・どこの震災救援所に行っても大丈夫であり、同じものが備蓄してあることを知ってもらう。</li> <li>・地域コミュニティへの参加促進を促す。</li> </ul>
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペット同行避難は、杉並保健所の職員よりテントの組み立て方法や、避難所への持参するもの、避難場所の設置場所等の説明を受けた。</li> <li>・応急救護訓練は、消防署職員より、AED、三角巾(止血、固定方法)、応急担架の説明を受け、それぞれ体験を行った。</li> <li>・防災倉庫は、防災課職員より普段見ることがないが、何が備蓄されているか、どこの防災倉庫においても同じ物品が備蓄されていることの説明を受けた。また、簡易トイレの組み立て・設置体験を行った。</li> <li>・起震車による地震の疑似体験を行った。</li> </ul>
実施する 取 組	3-⑦「安全・安心な生活の確保」 3-⑩「地域コミュニティへの参加促進」

項 目	概 要
事業名	「やさしい日本語」伴走型研修
日時	第1回：令和7年10月 6日（月） 15時00分から17時00分まで 第2回：令和7年10月 27日（月） 15時00分から17時00分まで
場所	杉並区交流協会事務室
出席者	講師1名 職員5名 外国人ボランティア2名
目的	各研修生の所属部署のちらし・案内文・掲示物等を「やさしい日本語」版に書き換え、実践力を身につけることを目的とする。
実施内容	<p>本研修は、本年6月に実施した「やさしい日本語」集合型研修を受講した職員のうち、本研修の受講を希望した職員に対して実施したもの。全2回。</p> <p>第1回の研修においては、まず、各研修生が持参したちらし等の研修題材について、各自で「やさしい日本語」に書き換えるための情報の取捨選択を行った上で、研修題材の書き換え試作を行った。</p> <p>第1回から第2回の研修までの期間は、各研修生が研修終了後に各自の職場に持ち帰って作成した試作版を、本研修の講師に添削を受けるための期間として設定した。</p> <p>第2回目の研修においては、講師による添削を受けた試作版を外国人ボランティア2名に見てもらい、外国人ならではの様々な意見やアドバイスをしてもらい、意見交換を実施した。そして、この外国人ボランティアからの意見やアドバイスを反映したものを完成版とした。</p>
実施する取組	1-②「やさしい日本語」の普及・啓発 2-⑥ 受け手の立場に立った伝わる情報発信

項 目	概 要
事業名	「はじめての日本語」教室
日 時	第1回：令和7年11月 5日（水）の13時30分から15時00分まで 以後、週2回（月・水）実施（祝日、年末年始を除く）
場 所	杉並区交流協会事務室
出席者	講師1名 職員1名 受講生9名
目 的	日本語をほとんど話すことができない外国人を対象に、生活のための基礎的な日本語を学んでもらうことを目的とする。
実 施 内 容	<p>本教室は、杉並区在住・在学・在勤の外国人（中長期在留者に限る）のうち、日本語をほとんど話すことができない、日本語をこれまで勉強したことがない人を対象として実施するもの。全24回。</p> <p>受講生の国籍・地域の内訳は、アイルランド、米国、キプロス、中国、台湾、ネパール及びニュージーランド。</p> <p>第1回目の教室では、講師から日本語でのあいさつや簡単な自己紹介などを学んだ後、受講生がグループに分かれ、お互いにあいさつや自己紹介をした。また、ひらがなについて、書き順も含めて講師から指導を受けつつ、各受講生が実際にひらがなを書いてみる時間が設けられた。</p>
実施する 取 組	2-④ 日本語教育機会の確保